

いよいよ明日から冬休みに入ります。冬休み中、事故やケガ等に気をつけてお過ごしいただき、どうぞよい年をお迎えください。さて、冬休み明けにはいよいよ3学期を迎えます。1月になるとぐっと冷え込んで参りますが、来年も、寒さにも負けないで子どもたちが「みほとけさまおはようございます」と白い息とともに手を合わせ元気に登園して来ることを願っております。1月は、年の始めであるとともに令和元年度の締め括りとなる3学期の始めでもあります。新しい期待とともに子どもたちが、寒さに負けず、いつも元気で明るく笑顔を絶やさず、友だちとも仲良く遊び健康な子であるよう大人と共に心身を鍛えていきたいものです。また、まわりの大人の和顔愛語（やさしい笑顔と心からのことば）が子どもたちの勇気づけになっていくよう、教職員一同心を新たに努めて行きたいと思っております。

◆ 冬の自然のなかで

こどもたちは . . . ◆

冬の自然のなかで、子どもたちは大発見をしたりそのものに触れて楽しんだりしています。その子どもたちのかかわりは大人の視点とは異なり、素朴な姿が見られますが、そこには子どもの生活や感覚が素直に表れているように思います。例えば、水たまりに張った氷は、大人にとっては冬にあるあたりまえの風景ですが、子どもたちにとっては、氷を見つけるだけで大発見であり、それを取ることでとても大切な宝物になるのです。又、それを使って箱にいれて箱を冷蔵庫がわりしてみたり、すかして見て氷の向こう側がどんなふうに見えるか、ワイワイ騒いだりしています。その他にも冬の自然の姿（動物の生活、虫の生活、木や花の姿etc…）はたくさんあります。お子さんと遊びながら一緒に探してみてください。

わげんあいご
和顔愛語の保育

和やかな顔、慈しみをもったことば、これは子どもに対しての理想というよりも、まず第一に、私達自身大人が常に心がけなければならないことです。

赤ちゃんが笑むと、ついこちらもこころが和んで顔も自然と笑顔になる。こんな体験は誰にでもあると思います。この「相互作用」は、社会に揉まれ、我々大人同士のなかで忘れてしまったことではないでしょうか。

寒い冬の中、「ただいま！〇〇ちゃんとあそんでくる」と幼稚園から帰ってきてすぐに遊びに行く子、「今日、幼稚園でね・・・」と遊びながら話かけてくる子、なにかいたずらをしように目を光らせている子。まず、こうした子どもたちを温かい微笑みで包み、優しい言葉を掛けることは、子どもを育てるのにとても大事なことです。「愛語」といってもなにも表面的に穏やかな言葉をいうだけではありません。ときには厳しく、しかし優しく子どもたちに接していきたいものです。なにかとギスギスした言葉の多い現代です。子どもたちをまるごと包み込むような「和顔愛語」の精神で、私達が接していくことによって、子どもたちにも、こうした心情を育てていくことができるのだと思います。

合 掌

☆ 人形劇の公演について ☆ (年長中少みかん組)

1月9日(木)に「人形劇団ポポロ」による人形劇があります。今年、「どうぞのいす」です。体育館いっぱい楽しいメルヘンの世界が広がり、きっと子どもたちの心は夢で一杯になることでしょう。(人形劇代金は園で負担します)



☆ 令和2年度新入園児一日入園 ☆

1月21日(火)は、令和2年度1号2号認定新入園児の一日入園を行います。在園児は通常保育です。

◎ 令和元年度 第37回作品展 ◎

年間の行事予定通り、2月8日(土)に開催いたします。作品展にむけて各クラスより廃材など素材について、お願い申し上げますが、ご協力の程お願いいたします。

